【音楽科の目標】
第１　目　標
　表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，音楽を愛好する心情を育てるとともに，音楽に対する感性を豊かにし，音楽活動の基礎的な能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。

【第１学年】
１　目　標
(1)音楽活動の楽しさを体験することを通して，音や音楽への興味・関心を養い，音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
(2 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，基礎的な表現の技能を身に付け，創意工夫して　表現する能力を育てる。
(3)多様な音楽のよさや美しさを味わい，幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。

学期	月	題材	ねらい	時数	共通事項 「A表現」「B鑑賞」の指導を通して次の事項を指導する。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて，音楽活動を通して理解すること。 ア 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。	主な教材 A表現：表現教材は次に示すもの ア 我が国及び諸外国の様々な音楽のうち，指導のねらいに適切で，生徒にとって平易で親しみのもてるものであること イ 歌唱教材には，我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち，指導のねらいに適切なものを取り扱う。 （ア）我が国で長く歌われ親しまれている歌曲のうち，我が国の自然や四季の美しさを味わえるもの （イ）民謡，地域や学校の伝統的な歌唱など，我が国の伝統的な歌唱のうち，生徒の実態を考慮して，伝統的な声の特徴を感じ取れるもの B鑑賞：鑑賞教材は，我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち，指導のねらいに適切なものを取り扱う。	A 表現 （1）歌唱 ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り，表現を工夫して歌うこと。	（1）歌唱 イ 曲種に応じた発声により，言葉の特性を生かして歌うこと。	（1）歌唱 ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り，表現を工夫しながら合わせて歌うこと。	（2）器楽 ア 曲想を感じ取り，表現を工夫して演奏すること。	（2）器楽 イ 楽器の特徴をとらえ，基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。	（2）器楽 ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り，表現を工夫して演奏すること。	（3）創作 ア 言葉や音階などの特徴を感じ取り，表現を工夫して簡単な旋律をつくること。	（3）創作 イ 表現したいイメージをもち，反復，変化，対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。	B鑑賞 ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き，言葉で説明するなどして，音楽のよさや美しさを味わうこと。	B鑑賞 イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて鑑賞すること。	B鑑賞 ウ 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り，鑑賞すること。	評価規準 音楽への関心・意欲・態度	評価規準 音楽的な感受や表現の工夫	評価規準 表現の技能	評価規準 鑑賞の能力	備考
後期	10 11	合唱に親しもう	これまで学習してきた音楽的表現をもとに，さらに合唱に楽しさを深められるようにする。合唱コンクールでの演奏を集大成として活動を展開する。	6	音色・テクスチュア	各クラスの合唱曲	○		○									音楽に親しみ，音楽を進んで表現し，鑑賞しようとする。 【第１学年】 音や音楽への興味・関心を養い，音楽によって生活を明るく豊かなものにしようとする。	音や音楽のよさや美しさを感じ取り，それらを音楽活動の中で創意工夫し，生かしている。 【第１学年】 音色，リズム，旋律，和声を含む音と音とのかかわり合い，形式などや速度，強弱の働きを知覚し，音楽のもつ曲想や美しさを感じ取る能力を身に付け，それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。 【第１学年】 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り，曲に対する自分の解釈やイメージを音を通して適切に表現していくため，発声や楽器の扱い，読譜力などの基礎的な表現の技能を身に付け，創造的に表現する技能を育む。	音楽を楽しく聴取，鑑賞し，そのよさや美しさを味わう。 【第１学年】 楽曲の雰囲気や曲想と諸要素の働きによる効果，我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽の特徴などを背景となる文化・歴史などとかかわらせて感じ取って聴く。	
																		各声部の特徴と役割に関心をもっている。	歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成を感じ取り，自己のイメージや感情を膨らませて，歌唱表現を工夫している。	歌詞の意味，背景にある情景や心情，歌詞の構成を感じ取り，自己のイメージや感情を膨らませて，歌唱表現をする技能を身に付けている。		
	12	日本の音楽に親しもう	日本の陰音階などに触れ，独特の音楽文化をつくりあげた日本の音楽に触れる。箏を用いて和楽器を体験する機会とする。	4	音色	＜器楽曲＞「さくら」 ＜鑑賞曲＞「六段の調」					○						○	和楽器の音の特性や奏法に関心をもち表現をすることに意欲的である。	和楽器の音の特性や奏法を感じ取って表現の工夫をしている。	和楽器の音の特性や奏法に気を付けて演奏する技術を身に付けている。		
	1	旋律にふさわしい伴奏をつくろう	旋律と和音やリズムなどとのかかわりを意識し,和音を工夫して表現することの楽しさを感じ取り,器楽表現及び鑑賞をする。	4	旋律・テクスチュア	＜器楽曲＞ 「主人は冷たい土の中に」 ＜鑑賞曲＞ 「ラヴァースコンチェルト」				○					○			和声的な響きやリズムに関心をもち,合奏表現することに意欲的である。	和声的な響きやリズムを感じ取って,合奏表現を工夫している。	和声的な響きやリズムに気を付けて合奏表現をする技能を身に付けている。	音楽の様々な構成要素の働き及び効果と,楽曲の雰囲気や曲想とのかかわりを意識し,楽曲を聴き取っている。	
	2 3	卒業式の歌を心をこめて歌おう	歌詞の意味を理解しながら，心をこめて歌う。	5	音色・速度・強弱	卒業式の歌	○											曲想の表現に興味をもって歌唱表現に取り組んでいる。	自分たちのイメージに合わせて，強弱や速度などの表現を工夫している。	感謝の気持ちを込め，思いを表現しようとしている。		